



水素社会の実現に向けて

# 燃料電池自動車(FCV)の特徴・安全性



## 特徴

燃料電池自動車(FCV)は  
**究極のエコカー**

クリーン **排ガスゼロ・CO<sub>2</sub>ゼロ**

静か **静かで滑らか・加速が良い**

長距離走行 **最長650km** ※電気自動車：220km

早い充填 **3分で満タン** ※電気自動車：30分

安い燃料費 **10km走行で73円**  
※燃料費はハイブリッド車並み

災害時利用 **災害時の非常電源で利用可能**  
※一般家庭なら1週間分

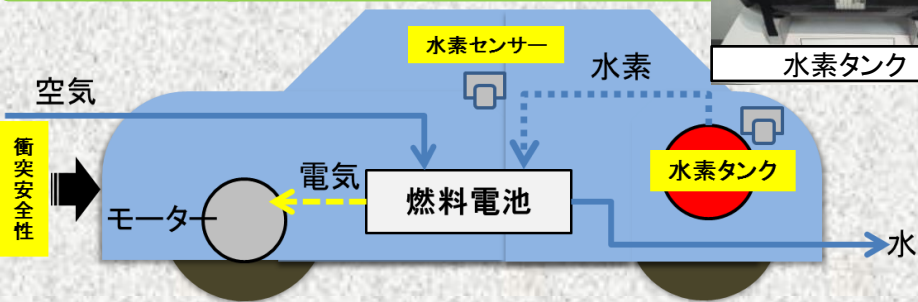
## 安全性

**ガソリン車と同等の安全性を確保**

水素タンク **炭素繊維製で強度は鉄の10倍**

水素センサー **1%以上の水素もれを瞬時に検知**  
※水素は4%以下では燃焼しない

衝突安全性 **ガソリン車と同等**





水素社会の実現に向けて

# FCVに100万円を補助！ 本日受付開始！

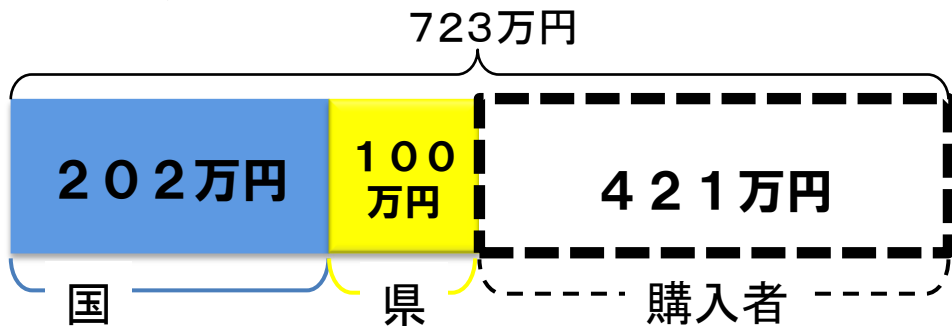


**対象** 個人、法人、団体、リース事業者

**予定台数** 100台

**条件** 県内に所有者住所、本社・営業所等があること

(トヨタ・MIRAIの場合の例)



国と県の補助で、421万円で購入可能！

トヨタ MIRAI



平成26年12月15日発売

ホンダ FCV



平成27年度中発売予定

**問い合わせ先**

**県環境政策課**

**TEL 048-830-3019**

埼玉県知事記者会見

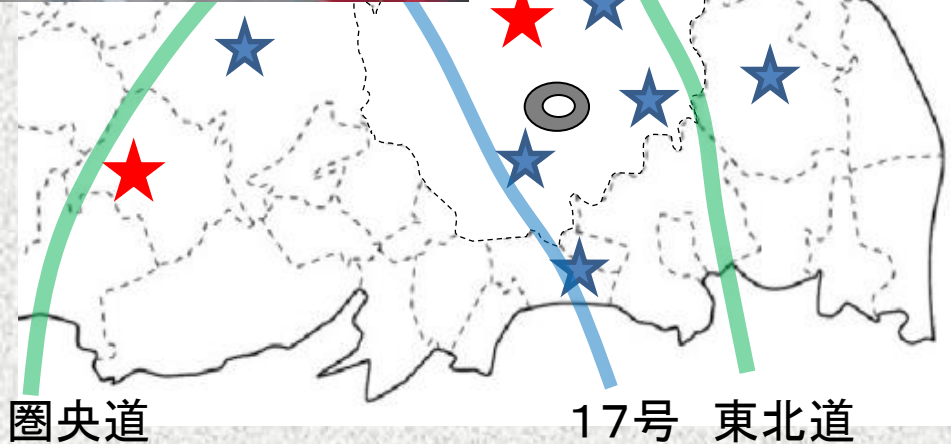
平成27年4月7日 ②



# 水素ステーションの整備状況



商用水素ステーションが年内に9か所でオープン ～首都圏で最多～



★ 3月オープン

- さいたま市 (大和田 旧16号 沿線)
- 狭山市 (根岸 圏央道 IC 直近)
- 春日部市 (備後東 国道4号 沿線)

★ 4月以降(年内)

- 戸田市 (新曽 国道17号 付近)
- さいたま市 (桜区 国道17号沿線)
- 〃 (緑区 移動式)
- 〃 (見沼区 移動式)
- 川越市 (未定 移動式)
- 越谷市 (未定 移動式)

県庁にも率先設置 \*非商用  
～都市型コンパクトステーション～

- CO<sub>2</sub>ゼロ (太陽光で水分解)
  - コンパクト (コンテナサイズ)
  - 低コスト (商用の5分の1)
- ※現在の設備は今年度撤去予定



# 水素社会へのロードマップ



燃料電池自動車(FCV)で  
水素社会への扉を開く！

FCV普及をテコに  
水素エネルギーの  
利用や供給を拡充

水素エネルギーネットワークを構築

- つかう = 家庭、オフィスビル、工場へ拡大 etc.
- つくる = 下水汚泥を活用した水素製造 etc.
- つなぐ = 水素供給インフラの整備 etc.

世界の  
水素市場  
160兆円  
(2050年)



水素で走る電気自動車  
(水素+酸素⇒電気・水)

水素ステーション 30基  
FCV 60,000台

埼玉県の  
目標

水素ステーション 17基  
FCV 6,000台

水素元年

2015 2020 2025 2030

## ネットワークのイメージ

